

令和5年度

自己評価報告書の概要

令和6年7月1日

武蔵野栄養専門学校

令和 6 年 7 月 1 日

令和 5 年度 学校関係者評価報告書

学校法人後藤学園
武蔵野栄養専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人後藤学園武蔵野栄養専門学校「学校関係者評価委員会」は、令和 5 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告致します。

1. 学校関係者評価委員（「武蔵野栄養専門学校 学校評価要綱」による選出）

- ・ 学校の専門分野における業界関係者（同第 5 条第 2 項第 1 号）

益子 純子 氏 株式会社 藤江 代表取締役

- ・ 卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

藤澤 弘之 氏 東都給食 株式会社 代表取締役社長

- ・ 卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

飯島 敬子 氏 本校卒業生

- ・ 卒業生（同第 5 条第 2 項第 2 号）

植田 雄一 氏 医療法人 梅原病院

- ・ 高等学校校長、進路指導担当者等（同第 5 条第 2 項第 3 号）

関山 勝之 氏 東京都立 葛西南高等学校 校長

• 基準1 教育理念・目的・育成人材像

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	④	3	2	1
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	④	3	2	1
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	④	3	2	1
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員からのご意見等

- 問題ない。
- 学生の教育に邁進していただきたい。「社会に貢献する」という点についてもぜひ実現していただきたい。
- 接遇やマナーという点についてより一層授業で取り入れていただけたらありがたい。

改善策

地域の発展や活性化に貢献すべく専門的な知識・技術を身に付けた栄養士を育成していく。また、接遇やマナー・コミュニケーション能力を高める授業構成を検討していく必要がある。

● 基準2 学校運営

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
2-2-1	理念に沿った運営方針を定めているか	4	③	2	1
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	④	3	2	1
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	③	2	1
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	④	3	2	1
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4	③	2	1
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	③	2	1
2-7-1	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・ 会社では社員やパートの方へ伝達のための組織を設けている。実際に受け止める側の声というものを取り上げポイントを絞り、変えないといけないところは変えていくようにしている。学校は組織ができていますが、それがどのくらい反映されているかということが大切である。一方通行にならない形にしていくと良い。
- ・ トップダウンでなく、下から意見が言い易いような環境作りをしていただきたい。
- ・ 高等学校でも教職員に対するケアについて進められている。

改善策

迅速な判断が求められる場合はトップダウンになるが、内容に応じて若い世代の意見を吸い上げている。今後も、学校運営等について常日頃から意見を言い易い環境作りをしていく。また、若い世代の意見を積極的に吸い上げることで、指示待ちから主体的に声を上げる人材の育成にも繋がるため、ボトムアップを定着させる。

• 基準3 教育活動

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	④	3	2	1
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	④	3	2	1
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	③	2	1
3-9-2	教育課程について、外部の意見を反映しているか	④	3	2	1
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	④	3	2	1
3-9-4	授業評価を実施しているか	④	3	2	1
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	③	2	1
3-10-2	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	③	2	1
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	④	3	2	1
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	③	2	1
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
3-12-2	教員の資質向上への取組を行っているか	4	③	2	1
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・ 問題ない。このまま継続をお願いしたい。
- ・ 次年度の4月から入学する学生は、高等学校の学習指導要領が変更後の学生となる。「主体的・対話的で深い学び」が学生指導要領の根底となっている。授業で生徒たちはグループでの話し合いや、タブレット端末を用いた授業にも慣れているので、実習などでもそのような点をお含みいただければと思う。

改善策

ただ知識を増やすだけでなく、自ら学ぶ力や時代の変化に対応できる能力を養うためのアクティブラーニング（能動的学習）を基本とした授業構成を展開している。2022年から導入された新学習指導要領等も考慮した上で授業計画の作成に取り組んでいく。
社会のグローバル化や、IT産業の躍進など社会環境の変化に沿ったカリキュラム改革が重要課題となる。

• 基準4 学修成果

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	③	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・ とても丁寧に指導されている。ぜひ今後も継続をお願いしたい。
- ・ 毎年卒業生を何名か社員として受け入れている。社会に出ると色々なことがあるが、武蔵野の卒業生は精神面が強い（打たれ強い）印象がある。
最終的な目標は就職にあるとのことだが、就職しても長続きしない、社会的評価がもらえないことなどで継続ができない。就職した後のケアは会社でも年に5.6回以上は実施しているが、長続きしないというところが実際に、世の中では退職代行を使う方もいる。仕事に対する責任ややりがいを感じ継続をするというところまでいかない新卒者が多いように感じる。メンタルヘルスケアなど色々なことをしながら会社としても対応をしているが、「社会に出たらこのような事もある」、学生から社会人への切り替えについての教育も是非学校側にお願いをしたい。栄養士の資格を取得したので、ぜひ生かしていただきたい。
- ・ 当院は私を含め、貴校の卒業生が多く就業している現場である。全員が十年以上の勤務となっているが、2週間や1か月で退職をしてしまう人もいた。時間、コストをかけて採用をするので、2週間や1か月で退職されてしまうのは残念である。時には学生に厳しい言葉をかけることも大切である。

改善策

モラル（道徳・倫理）、ルール（規定・規則・基準・法律）、マナー（行儀・作法）だけでなくモラール（士気・やる気）やメンタル強化など様々なモラルエデュケーション（モラルに関する教育）に常日頃から取り組むことで、社会に適応した人材を育成していくことが重要課題となる。
今後も接遇ビジネスマナー演習や就職セミナー、校外実習事前事後学習などを通して学生の意識付けの強化を図る。

• 基準5 学生支援

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	④	3	2	1
5-17-1	退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	④	3	2	1
5-18-2	留学生に対する相談体制を整備しているか	4	③	2	1
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	③	2	1
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	③	2	1
5-19-3	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	4	3	②	1
5-19-4	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	3	②	1
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	③	2	1
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4	③	2	1
5-21-2	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	3	②	1
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	③	2	1

学校関係者評価委員からのご意見等

<ul style="list-style-type: none"> 学生への支援はとて大変なことである。学校としての取り組みについては、ハード面とソフト面の支援があると思う。ハード面では資金や運営の問題があり難しく、あとはソフト面での支援となってくる。学生は入学し、その後就職をして未来があるというような点に魅力を感じ学校を選ぶと思う。「綺麗な学校」という点だけではなく、違う部分、例えば再教育のプログラムの開発・実施に取り組むなど、もう少し目に見える形でソフト面のアピールがあると良いと感じる。 退学率が下がった点について、先生方の努力があったと思う。今後も継続をお願いしたい。 奨学金の利用者が増加している。高等学校では授業料などの補助が殆どとなり、定時制では給食も全て補助となった。このような点から、高額な教育費について保護者がどのようにお考えなのかと感じることがある。生徒側からしても学費については現実的ではないため、高等学校の段階で話をしていきたいと思っている。 専門学校卒業後3年以上の実務経験を経て管理栄養士国家試験を受験できる。卒業後ある程度までは管理栄養士国家試験対策講座の案内葉書が送付されてくるが、年月が経つと送付されてこなくなり、オンデマンドで講習会が開催されていることを知らない卒業生も多いと思う。就職先の企業や施設に送付するなどすれば、就職先の企業との繋がりにもなり、卒業生や他校の卒業生も知ることで収益にも繋がる。3年で合格するということが大切だと思う。

改善策

<p>卒業支援の一つとして管理栄養士準備対策講座を実施しているが、受講者の募集は直近の卒業生への通知及びHPでの公開のみである。今後は企業と連携し、本校の卒業生だけでなく管理栄養士を目指す企業等の従業員の方達に対しても「対策講座」を紹介する等、協力体制を構築していきたい。</p>
--

• 基準6 教育環境

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	③	2	1
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	③	2	1
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・ 施設や設備の整備については予算を組んで行えていると思うので、今後も継続的に行って欲しい。
- ・ インターンシップについて、当社でも積極的に受け入れており就職にも繋がっている。目標値を決めてインターンシップを後押ししていただけたらありがたい。
- ・ 事前指導・接遇等においてご苦労されていると思います。本校でも1年生全員がインターンシップに参加をしており、全く同じような課題に直面している。今後も指導をお願いしたい。

改善策

実際の職場での就業体験を通して、業務や企業観、社会への理解を深めた上で就職活動及び就職に繋がるよう、支援・体制を整えていく。

• 基準7 学生の募集と受入れ

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	④	3	2	1
7-25-2	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	4	③	2	1
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	③	2	1
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	③	2	1
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	③	2	1
7-27-2	入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いを行っているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- 問題ない。
- 高等学校で行われる上級学校説明会でその様子を生徒はとともよく見ている。今後も是非継続して取り組んでいただければと思う。

改善策

募集活動を円滑に進めるためには高等学校等の教職員との信頼関係が必要である。進学説明会や高等学校教職員を対象とした学校見学会を通して、本校の教育活動等についての理解を深めていただき、学生募集に繋がるよう活動を強化していく。

• 基準8 財務

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	3	②	1
8-28-2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	③	2	1
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	③	2	1
8-29-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	④	3	2	1
8-30-1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	④	3	2	1
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	③	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・ 栄養専門学校は収支は均衡しているとの評価であるが、学校を運営していく以上は経営が万全で学園全体が安定していないといけない。会社でも中長期の計画をしっかりと立てて損益分岐点を定め、プラスになるように考えている。それは学校も同じであると考えている。学校における収入源は入学者数であり、学生が入学してこない限り設備整備もできないので、広報活動にも力を入れていく必要がある。
- ・ 協力をするのでお声がけいただきたい。

改善策

入学者数の減少により支出超過が続いているが、プロジェクトに分かれて経営改善計画の実行に取り組んでいる。全体の収支バランスを安定させるためには入学定員の確保が必要であり、選ばれる学校になるために教育面の改善・広報活動の見直しを含め、検討することが重要である。

• 基準9 法令等の遵守

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④	3	2	1
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④	3	2	1
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	④	3	2	1
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・ 問題ない。
- ・ データの流失には十分留意をしてもらいたい。
- ・ 教職員はハラスメントの対象にもなりやすいと思うので、注意をしてもらいたい。

改善策

個人情報の適切な保護のため、年に一度研修を実施すると共に常日頃から注意喚起を行っている。今後も他部署の職員及び講師等にも研修を促していく。
若年層の職員も入職している現状から、法令遵守に関する教職員研修会の開催等について検討する必要がある。

• 基準10 社会貢献・地域貢献

【自己評価結果】

	評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
10-36-2	国際交流に取り組んでいるか	4	③	2	1
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っている	④	3	2	1

学校関係者評価委員会からのご意見等

- ・ 地域のボランティア参加人数が増えている点はとても良い。今後の継続をお願いしたい。
- ・ 参加希望者が増えているのはとても心強い。

改善策

教育環境を活かし、施設・設備の貸出しや教育成果を地域や社会に還元している。また、学生一人ひとりが考え、多くの人々と協力しながら自ら行動できる環境づくりを継続していく。